

議会だより



白山市

第15号

2009
平成21年2月



写真提供：雪だるま実行委員会

【目次】

平成20年12月定例会概要	2	特別委員会活動報告	11
決算審査特別委員会報告	4	常任委員会レポート	14
一般質問	5	白山市の名所・編集後記	16

12月定例会概要

平成20年第4回市議会定例会
12月4日(木)～19日(金)

12月定例会においては、市長から提案のあった補正予算案9件、条例案7件、事件処分案9件、そして第3回市議会定例会から継続審査となっていた平成19年度各会計決算の認定14件の合計39件をすべて可決、認定したほか、諮問では人権擁護委員候補者3名を推薦すると答申しました。また、議員提出の議会議案4件を可決し、請願1件を不採択としました。

利便性が高く住み良い快適な まちづくりを目指して

一般会計3億6768万円、特別会計・
事業会計4億2461万円の補正を承認

■補正予算案・・・・・・・・・・・・・・・・6件

12月補正後は一般会計予算480億4878万円、特別会計・事業会計予算351億8087万円、予算総額832億2965万円となりました。

一般会計においては、総務費では、法人市民税の過誤納還付金や保有株式の処分に伴う基金積立など9187万円を、民生費では、障害者の自立支援給付事業費や児童数の増加および産休代替等による臨時職員の人件費、法人保育園の運営負担金および施設整備補助金など3億2518万円を、衛生費では、公共施設のアスベスト含有分析調査費や松任海浜温泉源泉ポンプの設置工事費など439万円の増額補正が計上されました。

土木費では、市道あさひ荘苑福増線道路整備事業費の国庫補助対象額が減額となったことなどにより、2354万円の減額補正が計上され、

■条例案・・・・・・・・・・・・・・・・7件

主な条例案

- ・白山市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税の特例に関する条例について
- ・白山市民温泉条例の一部を改正する条例について
- ・白山市老人憩の家条例の一部を改正する条例について
- ・白山市老人福祉センター条例の一部を改正する条例について
- ・白山市スキー場施設条例の一部を改正する条例について

■事件処分案・・・・・・・・・・・・・・・・9件

主な事件処分案

- ・白山市土地開発公社定款の変更について
- ・町の名称の変更について
- ・財産の譲渡について
- ・白山白峰温泉スキー場の指定管理者の指定について
- ・北陸本線松任駅自由通路等の新設工事委託に関する協定について

■決算の認定・・・・・・・・・・・・・・・・14件

平成19年度白山市一般会計ほか特別会計、事業会計歳入歳出決算の認定

■人事案・・・・・・・・・・・・・・・・1件

人権擁護委員候補者の推薦に答申

- (再) 吉田 桂子(吉野) (新) 高田 勝治(日向町)
- (新) 高濱 咲子(瀬木野町)

■議会議案・・・・・・・・・・・・・・・・4件

【意見書】

1. 国会議員の定数削減等を要請する意見書

国会議員の定数を、大幅に削減するよう国に求める。



自由通路などの整備が待たれるJR松任駅

松任駅自由通路等の整備について、工期に5カ年を要するため、債務負担行為として15億5000万円が計上されました。
教育費では、児童・生徒の増加に対応して蕪城小学校、松任および美川中学校の改修、増築事業費などに1899万円の増額補正が計上されました。

公債費では、公的資金補償金免除線償還金の元金および利子の償還額が確定したことにより4660万円の減額補正が計上されました。

なお、公共施設のアスベスト分析調査事業、小中学校の改修、増築事業などにつきましては、先に、国で決定した「安心実現のための緊急総合対策」に基づき実施することとなっています。

特別会計においては、その主なものとして、後期高齢者医療特別会計では、制度改正に伴う電算処理システムの改修費など、介護保険特別会計では、介護サービス給付費など、観光事業特別会計では、圧雪車の修繕費などが計上されました。

簡易水道事業および下水道事業特別会計では、公的資金補償金免除線償還費などが計上され、6つの特別会計で総額3億8157万円の増額補正の計上となりました。

水道事業会計および工業用水道事業会計では、公的資金補償金免除線償還費など2つの事業会計で総額4305万円の増額補正が計上されました。

これらの補正予算案は、所管の委員会付託後、慎重審議の結果、本会議において、すべて可決しました。

2. 公契約に関する基本法の制定を求める意見書

良質な公共サービスの安定的提供とその事業に従事する者の労働条件の改善、並びに職場の安全の確保のため、公契約に関する基本法を早期に制定するとともに、制定に際しては、公正労働基準の確保と労働関係法の遵守、社会保険の全面適用等を公契約の必須要件とすることを国に求める。

3. 森林・林業・木材産業施策の積極的な展開を求める意見書

森林整備を推進するため、森林所有者の森林経営意欲創出のための施策の推進はもとより、民間による整備が困難な水源林等公益森林の整備に対する公的機関の役割の強化、さらには、森林・林業の担い手である山村の再生に向けた積極的な取り組みを、今後の林政の展開に当たって国に求める。

【決議】

1. 白山白峰温泉スキー場及び西山クロスカントリー競技場の運営に関する決議

白山白峰温泉スキー場及び西山クロスカントリー競技場は、本来競技専用スキー場として、県内スキー競技力の向上と選手の育成強化を図るものであり、他のスポーツ競技と同様、石川県が主体となり、スポーツ施設として運営することを強く求める。

これらの意見書および決議は議会議案として提出され、全議案を可決しました。

市議会自治功労議員知事表彰

昨年11月17日に石川県庁にて、地方自治に永年貢献した市議会議員に、谷本石川県知事より表彰状が贈られました。

表彰議員

中西 恵造 林 繁



決算審査特別委員会報告

平成19年度決算を認定

先の第3回市議会定例会において、当委員会に閉会中の継続審査として付託された議案第103号（議案第116号の一般会計をはじめとする各会計決算について、10月中、3日間にわたり委員会を開催しました。採決の結果、議案第103号は賛成多数で、そのほかの13議案は全会一致をもって認定すべきものと決定しました。

主な意見

○歳入
市税などについては、経済動向をかんがみると、今後滞納額が増えていくことも予想されるが、安定した自主財源確保のために今後とも滞納対策に積極的に取り組むこと。

○歳出

○総務費 イベント等の委託料については、安易に業者に委託するのではなく、職員一人一人が経費削減を真剣に考え、創意工夫により自分たちで行う姿勢を大切にすること。また、転入者等に対し、音声告知放送を積極的に周知し、加入率を高めること。

○土木費 道路補修については、経費がかからないよう修繕方法を工夫するなど、市民の要望に応えるよう努めること。

○教育費 研究指定校事業については、意欲ある研究が行えるように指定校の指定に配慮すること。

○災害復旧費 林道整備については、災害復旧事業を待ったような整備ではなく、現状を把握し、計画的な整備、維持管理に努めること。

白山市の家計簿

総括 本年度から「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、財政状況の公表が義務付けられました。これらの数字を見ても、白山市の財政は決して楽観視できる状態ではなく、今までの数字を見ても、一人一人が市の財政に対し、危機的意識を持ち、創意工夫により最小経費で最大の効果を上げられるよう、より一層行財政改革を推進し、健全な財政運営に鋭意努力すること。

項 目		19年度	18年度	17年度	
収 入	給与	372万円	363万円	368万円	
	基本給	284万円	271万円	276万円	
	諸手当	88万円	92万円	92万円	
	パート収入ほか	32万円	34万円	35万円	
	手持ち資金	13万円	16万円	23万円	
	定期預金の取り崩し	10万円	7万円	23万円	
銀行からの借入れ	64万円	67万円	83万円		
	合 計	491万円	487万円	532万円	
支 出	食費	70万円	72万円	72万円	
	医療、介護、保育費	42万円	39万円	36万円	
	光熱水費、通信費等	76万円	75万円	86万円	
	交際費等	58万円	54万円	58万円	
	家の改修、自動車・電化製品の購入	89万円	99万円	121万円	
	子どもへの仕送り	51万円	52万円	58万円	
	ローンの支払い	81万円	77万円	75万円	
	定期預金積立	16万円	7万円	10万円	
		合 計	483万円	475万円	516万円
		翌年度手持ち資金	8万円	12万円	16万円
	実質収支	8万円	12万円	16万円	
	■ローン残高（市債残高）	711万円	713万円	711万円	
	■定期預金残高（基金残高）	13万円	17万円	17万円	

※平成19年度一般会計決算を前2カ年度と比較し、家計簿を作成しました。（金額については、決算を1万分の1にしてあります。）

一般質問

議員12人 市政を問う

12月定例会の一般質問は、10日、11日の2日間にわたり行われました。

10日質問議員

- 竹田 伸弘 議員 5ページ
認知症・アルツハイマーの
治療ができるのでは
- 小川 義昭 議員 6ページ
EQ「心の知能指数」教育を推進せよ
- 林 繁 議員 6ページ
白山ろくの過疎対策を問う
- 本屋 彌壽夫 議員 7ページ
団地内歩道は安全施設だが
危険な道路になった
- 古河 尚訓 議員 7ページ
競技スキー関係者の強い要望に
どう対応するのか
- 小島 文治 議員 8ページ
来春の介護保険料改定、
保険料が上がる要因は
- 宮岸 美苗 議員 8ページ
石川線（一の宮駅～鶴来駅区間）の存続を

11日質問議員

- 清水 芳文 議員 9ページ
美川から中央病院行きのバス運行を拡充せよ
- 水上 俊明 議員 9ページ
問題のあるゴルフ練習場を廃止し工業団地に
- 寺越 和洋 議員 10ページ
「市民憲章」の普及・啓蒙は
- 村本 一則 議員 10ページ
早急に政策法務課の設置を
- 宮中 郁恵 議員 11ページ
インフルエンザ予防接種の公費助成を求める



※一般質問など12月定例会の詳しい内容は、今月末頃に白山市ホームページでご覧になることができます。
(<http://www.city.hakusan.ishikawa.jp>)

質問 アルツハイマー病の
治療薬の開発状況は3段階
あり、第1世代（病状改善
薬）第2世代（根本治療薬）
第3世代（発病予防薬）だ
が、現在は第1世代の症状

残された行政課題も多
く、議会初め市民の皆さん
のご理解とご協力が得られ
ることであれば、引き続き
市政の発展と市民の幸せを
最優先に、感謝の気持ちを
持って、市政のかじ取り役
を担わせていただくことに
渾身の力を注いでまいらる決
意です。

進められているが、
サイクロトロン・P
ET-CT・核医学
の先生がそろって
いる条件がないと治療
は実現できないが、
松任石川中央病院は
整っている。

全国で大学病院などを中
心に10力所程度で治
療に向けての研究が
進められているが、
サイクロトロン・P
ET-CT・核医学
の先生がそろって
いる条件がないと治療
は実現できないが、
松任石川中央病院は
整っている。



公立松任石川中央病院に
導入されているPET-CT



竹田 伸弘 議員

Q 認知症・アルツハイマーの
治療ができるのでは

A 県内初の認知症の
PET診断施設を期待している

質問 来年の白山市長選で
出馬を決意された角市長の
決意のほどは

改善薬で認知症・アルツハ
イマーの進行を遅らせるこ
とに主眼が置かれている。
治療の実施に向けて研究、
体制整備を行ってはと思う
が市長の見解は。

北陸で唯一の認知症・ア
ルツハイマーの早期発見と
治療の実施に向けて研究、
体制整備を行ってはと思う
が市長の見解は。



小川 義昭 議員

Q EQ「心の知能指数」 教育を推進せよ

A 十分研究し、取り入れる

EQ教育について

質問

①子どもたちに命の大切さ、思いやりの心など、豊かな人間性や社会性を育む教育を一層強化する必要がある。EQ教育を推進してはどうか。②学校だけでは指導しきれない感性を育む教育について、家庭や地域社会の教育力を回復する必要はある。地域社会や家庭教育において、今後の指導強化を問う。③地方分権化に向けて、自治体の職員の資質が大いに問われる。本市職員の採用、職員研修、人事管理にEQ教育を導入してはどうか。

教育長

学校教育充実のため、EQ教育の趣旨や内容等の有効性を十分研究し、検討していく。また、地域社会や家庭教育の強化については、地域で助け合い、補い合うことができるよう、連携を強化する活動を支援したい。

市長

公文書館の設置は、当面考えない。しかし、現在の公共施設が空き家になった時、検討したい。

総務部長

文書の保管管理は、所管課において適正に行われている。歴史的価値を有する文書の保存や廃棄については、先進事例も参考に調査研究したい。

公文書の保存管理及び 公文書館の設置について

質問

①合併前の旧市町村の保存文書及び合併関係文書などの保管管理は適正か。②歴史的価値を有する文書の保存や廃棄の決定は、多面的な価値基準による審査体制の整備が必要である。いかがか。③重要な歴史的資料の散逸を防止し、文化施策の一環として、市民

副市長 平成21年度の職員研修にEQ研修を取り入れる。

副市長 平成21年度の職員研修にEQ研修を取り入れる。



本庁舎書庫



林 繁 議員

Q 白山ろくの過疎対策を問う

A 住宅地整備事業への 支援を進める

質問

最近、特に過疎の進み方が激しいような気がする。今後の過疎対策を聞きたい。

市長

北陸鉄道は、この区間は鉄道としての役割を終えたとの判断から廃止届を提出したもので、法の定めでは1年後には廃止となる見通し。市の財政状況は厳しく、利用者の減少と投資効果が見込めない区間については、経費を負担することは極めて困難。21年度に市の法定協議会を立ち上げ、石川線の活性化を検討したい。今後とも交通事業

市長

民間による新たな住宅地整備事業への支援を推進したい。また、通勤圏内においての企業誘致の促進を図ると同時に、吉野工芸の里など観光拠点施設の整備充実を図り、雇用の創出に努めたい。来年度で期限切れの過疎地域自立促進特別措置法に代わる新たな立法措置を国に対して強く要望したい。

市長

北陸鉄道は、この区間は鉄道としての役割を終えたとの判断から廃止届を提出したもので、法の定めでは1年後には廃止となる見通し。市の財政状況は厳しく、利用者の減少と投資効果が見込めない区間については、経費を負担することは極めて困難。21年度に市の法定協議会を立ち上げ、石川線の活性化を検討したい。今後とも交通事業

質問

尾口保育所が廃止され、一里野温泉から吉野保育所まで、約20キロ近い距離を「めぐーる」に乗って小さい園児が通っている。一方、白峰小学校は白嶺小学校までの距離の関係で単独で残っている。園児の安全、地域のバランス、公平等を考えてほしい。

健康福祉部長

20年4月から尾口地域の通園に伴うコミュニティバスは、吉野保育所まで保育所専用として運行し、保護者の皆さんの御理解を得た。児童の安全確保のため、保育士のほか補助員も添乗して、より安心・安全な送迎に努めている。

質問 北陸鉄道石川線は、加賀一の宮駅から鶴来駅の2・1キロを廃線にすると届け出がなされている。市の対応策を問う。



北陸鉄道石川線の電車



本屋 彌壽夫 議員

Q 団地内歩道は安全施設だが危険な道路になった

A 市道の維持管理は年次計画で適正に管理する

質問 千代野等の団地内歩道に植栽された街路樹は大木となり、歩道を壊し始めた。

朝夕に犬の散歩やウォーキングを楽しむ人たちは大変多く、中には老人や病気を患っている方もおり、道路の安全施設であるはずの歩道が大変危険な道となっている。至急修繕せよ。

質問 米生産調整での大豆720トン。有機栽培、減農薬の白山市産の大豆は安全・安心の食材である。JA松任ビーンセンター近くに大豆100%使用の加工施設をつくってはどうか。

建設部長 道路パトロールや道路利用者からの通報、連絡により除草、剪定を実施しているが、街路樹の根が歩道に張り出し歩行者が歩きにくいところは、適正な時期に剪定や歩道の修繕を行う。

市長 農業の実習を通じて子どもたちが作物を育てて収穫する喜びや難しさを知り、その結果、農家への感謝や食べ物の大切さを学ぶことになる。

市長 農地の提供や農業指導者など地域の協力を得ながら、全校において実習園を設けることにしたい。

市長 食品加工施設を農協で考えるならば、行政として大いに支援する。

質問 白山市内全小学校に、学童体験農園の設置と農園管理をした学年全員が一度は自分の作ったものを食べられるほどの面積がある学童農園を設置しては

市長 レンゲソウのすき込みや肥料軽減試験など、農協が取り組む新たな調査・研究に支援していく。



大木に壊された石川ソフトリサーチパークの歩道



古河 尚訓 議員

Q 競技スキー関係者の強い要望にどう対応するのか

A 財源確保に課題、署名は非常に重く受け止める

質問 白峰スキー場については、県との協議が難航する中、存続を求めてスキー関係者から署名提出がなされる事態となっている。今後の運営見通しはどうか。

市長 市の応分の負担が必要であり、議会の理解が得られれば、地元法人に運営をお願いしたい。

教育部長 専門的な資格を持つ非常勤職員が一度に退職した場合は、子どもたちや市民へのサービスが低下することから、勤務成績が良好な場合は、さらに任用が可能となるよう取扱要領を一部改正し実施する。

観光推進部長 財源確保が大きな課題であり、関係団体とともに、県および県教育委員会に支援を再三要請してきた。しかし、現状の県の支援や地元NPO法人の負担等を差し引いても、

来期に向けた教育課題 白山市方式の「少人数数学級」の評価に議論が出ているが、市長の総括を求めている。また、学校図書館司書の半数が臨時職員で、5年雇用と言われ、21年度が最終年となる。継続雇用と正規雇用化へのシ

質問 白山市は「移動支援障害者支援策の充実」

STEMの検討を求めたい。

市長 「少人数数学級」は私が松任市の市長の時に構想を描いた。そのことで本当に基礎的な教育を受けると

健康福祉部長 障害のある人が生きがいのある豊かな生活を送るためには、必要不可欠の事業であり、本市の障害者の社会参加がより一層推進されてきた。今後ともこれまでどおりの形で継続していきたい。



白山白峰温泉スキー場で行われた平成20年の全国中学校スキー大会

勢が出来上がると考え、これからも継続していきたい。



小島 文治 議員

Q 来春の介護保険料改定、保険料が上がる要因は

A 高齢者の増加に伴う自然増と在宅サービスの充実

質問 平成21年4月からの介護保険料改定の見通しは。

市長 現時点では国の介護報酬が示されていないので金額は決定していないが、県の水準まで上げざるを得ない。

質問 介護保険施設入所者数の目標と在宅サービスの充実策を。また、広報や市のホームページも活用し周知に努める。

市長 施設の入所者数は、現状でも国の基準よりかなり多い。施設をもう少し拡充すればいいのではないかと。このことだが、施設を増築して対応するということが、これ以上は、情報提供は、また、国・県の集団感染が疑われる事態が発生した場合、市民への対応策は、

本市の新型インフルエンザ対策

質問 新型インフルエンザの集団感染が疑われる事態が発生した場合、市民への情報提供は、また、国・県の連携体制と危機管理への対応策は。

健康福祉部長 音声告知放送や防災行政無線、あさがおテレビ等を活用し適時適切に情報を提供していく。

質問 介護保険の現状や保険料の値上げを市民に周知する方策は。

市長 介護保険の現状や保険料の値上げを市民に周知する方策は、また、本市における相談窓口は、石川中央保健所となるので、連携を図りながら迅速に対応したい。危機管理については、国・県の行動計画、県の健康危機管理マニュアルに沿った形で対応していく。



宮岸 美苗 議員

Q 石川線(一)の宮駅〜鶴来駅区間の存続を

A 沿線市町と一体で存続の運動を進めたい

石川線の廃線問題など
質問 北鉄に地元や利用者への説明責任を果たさせよ。

企画財政部長 北鉄には地元への説明責任と、地元への理解を得る努力をするよう申し入れている。廃線が事実なら遺憾であり、公共交通事業者としての営業努力をすべきだと伝えている。

質問 本市がイニシアチブを取って、存続を県・沿線市町に働きかけよ。

市長 市としては存続を強く要望し、沿線市町に協力を求めるのは当然だが、金沢駅まで乗り入れできる方法を考える必要もあるのではないかと。沿線市町と一体で存続の運動を進めたい。

企画財政部長 廃線問題は、将来の石川線・浅野川線の維持が可能かどうかの厳しい状況を示しているもの

だ。したがって、存続のために誰がイニシアチブをとるかはなく、関係者が努力することが路線維持への近道だ。

質問 総合計画にある石川線の「マイレール運動の展開」「パーク&レールの試行」の取り組みを聞く。

企画財政部長 取り組みたい。派遣社員やパートなどの非正規社員の実態把握にも取り組むたい。

質問 鶴来駅の西側から駅舎内に入れる計画はどうか。また、一の宮・鶴来・野町以外の駅でも自転車の乗り入れができれば、通勤・買い物で利用者増につながるのではないかと。

市長 公正・公平な入札、品質の確保は重要であり、入札・契約制度の確立のために、公契約条例の制定については今後検討したい。

ので実現に至っていない。



健康センター松任での介護予防教室



清水 芳文 議員

Q 美川から中央病院行きのバス運行を拡充せよ

A 利用者が増加傾向、21年4月から増便したい

の活性化に努めたい。

観光施策について
質問 ①白山市「食の駅」構想の展開と、補助制度や広報PRなどの支援策を提案する。②観光行政4年間の総括を問う。

市長 ①吉野工業の里に食の駅を考えてみたい。②自分のふるさとづくりは、自分たちがするという熱意のあるところに行政は支援する。まずふるさとづくりをして、行政が推進することが大切である。各地で熱意が生まれてきていることは総括として評価できる。

観光推進部長 ①民間が食の駅として開業しやすい支援策を検討したい。②8つの観光協会を統合した白山市観光協会の設立、県内外への観光宣伝活動などを行ってきた。20年9月に設置した白山市観光ビジョン懇話会の提言推進と地域

の活性化に努めたい。利用者ニーズから、現状ではやや難しい。美川地域から中央病院行きのバスは、利用者も増加しており、21年4月から増便したい。

コミュニティバスの運行拡充について

質問 JR松任駅を利用して通勤・通学する人たちが

市長をはじめ常勤特別職の退職金について
質問 ①退職手当組合の中で最も発言力のある白山市長がリーダーシップを取り支給額の減額に向けた取り組みを開始すべきだ。②それができない時は退職手当組合から脱会すべきである。

企画財政部長 朝の7時半頃にJR松任駅に到着する便の実施は、路線バスとの競合や現在の3台での運行が難しい。組合と折衷し、いい案があれば進めたい。②退職者が非常に増えている白山市の現状では今脱会は得策ではない。



美川地域から中央病院に向かうコミュニティバス

市長 当該組合の規定に基づき支給されており、私だけ減額することは難しい。組合と折衷し、いい案があれば進めたい。②退職者が非常に増えている白山市の現状では今脱会は得策ではない。



水上 俊明 議員

Q 問題のあるゴルフ練習場を廃止し工業団地に

A すぐにはできないが将来はそのようにしていく

し、合併特例債を使ってその

質問 民間企業が旧松任市内でゴルフ練習場を営業しているところへ、松任市が平成元年に松任グリーンパークにゴルフ練習場をつくらせて参入したのは間違いだった。その責任を誰がどのよう

市長 当時私は設置に反対だった。設置当時の松任市議会にも責任があった。

質問 問題のゴルフ練習場が現在松任グリーンパークゴルフセンターに賃貸されているが、賃貸料が3分の1に減額されている上に、その施設の固定資産税を負担しなくてもいいその会社に、多額の税金を投入してまで経営を支えているのも間違いだ。これに対する責任を誰がどのように取るのか。

副市長 借入金が残っているの

質問 全国学力テストの結果が2年続けて石川県の成績を下回っていたのだから、教育現場ごとの診断を

市長 水上議員にも検討委員会に参加してもらい、地元の方々に良かったと言ってもらえる学校を整備したい。

質問 計画されている明光小学校改築事業は、人口の分布状況、他の学校の配置状況等から見て、建築すべき場所の選定をどう考えているか。

市長 水上議員にも検討委員会に参加してもらい、地元の方々に良かったと言ってもらえる学校を整備したい。

副市長 借入金が残っているの

質問 全国学力テストの結果が2年続けて石川県の成績を下回っていたのだから、教育現場ごとの診断を

市長 水上議員にも検討委員会に参加してもらい、地元の方々に良かったと言ってもらえる学校を整備したい。

質問 計画されている明光小学校改築事業は、人口の分布状況、他の学校の配置状況等から見て、建築すべき場所の選定をどう考えているか。

教育委員長 難しい問題なので明らかにすることができない。ただ学力向上の必要性を痛感しており、全学校を訪問し激励している。



寺越 和洋 議員

Q 「市民憲章」の普及・啓蒙は

A 公共施設に市民憲章の パネルを掲げる

質問 白山市民憲章普及・啓蒙の取り組みは。
総務部長 市の花・木・鳥と市民憲章を合わせたパネルを各施設に配付する。

地域は、平成21、22年度の整備事業の中で導入する。美川・白山ろく地域は、デジタル化の更新に併せて導入する。

回覧板や各種イベントを通じて普及を図る。

質問 生涯学習事業で具現化せよ。市民憲章の項目を、一つ一つテーマとして、各公民館事業で推進せよ。

教育長 各種行事・大会で積極的にPRに努め、具現化事業を検討する。公民館事業は地域の皆様と十分協議する。

全国瞬時警報システム（JIALERT）を導入せよ

質問 平成24年度まで計画されている同報系デジタル防災行政無線整備事業で導入し、市の危機管理能力を高めよ。

市民生活部長

松任・鶴来

JIALERT（ジェイアラート）
消防庁が発した緊急情報を通信衛星（スーパーバンドB）を利用して地域衛星通信ネットワークに接続された市区町村の同報系防災行政無線を自動起動させることで、人手を介さず瞬時に緊急情報を住民へ伝達するシステム。有事情報を瞬時に地方公共団体へ伝達するとともに、緊急事態の発生をいち早く伝えることで、素早い避難を促し被害を減少させることができるため、各地方自治体の危機管理に貢献するシステムとして期待されている。

公共交通について

質問 加賀白山バス白山線（白山体験村6時45分発、松任駅8時20分着）の運行が道路の込み具合で、松任高校の始業に遅刻する生徒がいる。正確な運行を、バス会社に求めよ。

企画財政部長

始発時間を早めることや、正確なダイヤ運行をお願いした。

早めることや、正確なダイヤ運行をお願いした。

質問 今後の市内の公共交通に関するデータとして、市内の3つの高校に、生徒の通学アンケートを取るよう求める。

企画財政部長

アンケートは、試験的な取り組みとして実施したい。

質問 北陸鉄道石川線の加賀一の宮駅から鶴来駅間の運行廃止の届けが出されたが、通学の確保のため、石川線の鶴来駅から野町駅間是非常に必要かつ大事な。今後の市としての施策は何か、また関係機関に働きかけ、具体策を提示すべき。

市長

市の公費を維持費として負担する方法を考へざるを得ない。国・県・金沢市・野々市町との連携を進めていく。また、簡易踏切や駅利用者専用通路の整備、途中駅での路線バスとの接続機能強化など施策の実施に努めていく。

実施に努めていく。



村本 一則 議員

Q 早急に政策法務課の設置を

A 今後担当部署設置の 検討を行う

住民福祉の向上や人権・権利の実現、条例制定、訴訟対応に、早期に専門の課を設置すべき

質問 地方分権が進む中、自己決定・自己責任の原則から、地域特有の政策決定が必要なことや、法律に従っているだけでは地域の課題を解決できないこともある。政策を実現するための立法、法の執行および訴訟対応のための政策法務であり、悪質な税金・保育料・下水道料金・家賃等の滞納解決に向けた条例違反等悪質な違反者に対しての告発のためにも早急に専門の担当部署「政策法務課」を設置すべきである。

市長 自治体の業務のほとんどは、基になる法令に従って執行されている。法令に違反しない限りにおいて自治事務に関する条例の制定ができることになっていく。白山市も国の法体系との整合性を図りながら行政運営を行っているのが現状。

地方分権、広域合併が進展し、自治体の自立が求められる中、職員には地域の実情に即した政策を立案する能力が求められていることから、政策法務がますます重要になっていくこと

は認識している。今後も、現状の担当職員の研修の実施や顧問弁護士などの意見を参考に、適正な政策立案に努めていく。



行政訴訟に対応するためにも政策法務課が重要



宮中 郁恵 議員

Q インフルエンザ予防接種の 公費助成を求める

A 医療費削減につながる 前向きに検討したい

質問 学校など集団生活している子どもたちに、インフルエンザの流行が心配される。子どもは2回予防接種をしなければならぬ。物価高の折、子育て家庭の負担軽減を図るよう、公費助成を求める。今冬に間に合わせられないか。

健康福祉部長 今冬は困難。

質問 新型インフルエンザの対策は万全か。

健康福祉部長 国の行動計画の見直しにより、市は国・県の動向を注視している。石川中央保健所など関係機関と密接な連携を図り、適宜、適切な対応をしていく。

UD（ユニバーサルデザイン）のまちづくりを推進せよ

質問 これからのまちづくり・人づくりは、UDの考

え、理念を取り入れていくことが必要不可欠である。駅前施設整備や思いやりのある教育を行っていくためには、UDの考え方を取り入れていく必要があるが、市の考えを問う。

UD（ユニバーサルデザイン）
障害の有無、年齢、性別、人種などにかかわらず、多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方。

UDの考えは基本、それに基つきまじりを進めていきたい

市長 白嶺小中学校、白峰温泉総湯などもUDの考えを基本に整備した。

教育長 小・中学校の授業の中でも、また人権



白峰温泉総湯浴室

教育についても、学校教育全体を通して学習している。

質問 富光寺町にあるし尿処理施設跡地の活用策は。

上下水道部長 跡地売却も選択肢の一つ。地域の意見を聞きながら検討したい。

特別委員会活動報告

自治基本条例特別委員会

条例制定については、 より慎重に対応すべき

当委員会では、平成20年6月から6回にわたって委員会を開催し、また先進地である北海道ニセコ町から、出納室長片山健也氏を招いて講演会などを開催しました。委員会審議の過程での意見は次のとおりです。

制定全般に係る意見は

自治基本条例の必要性についてさまざまな意見があり、制定には、時間をかけて慎重に対応すべきとの意見が出された。そのほかの意見としては

条例の内容に対する意見は

最高規範性、市民の定義、住民投票の要件などに課題があるという意見が出され、具体的に

①市民の定義については、市民参加が当条例の柱の一つであり、今後の市政に支障を来さないよう十分な議論を尽くすべきである。また、年齢、納税の視点からも市民の定義を検討すべきである。

②自治基本条例は、市の日ごろの自治内容、内発的な自治を条文化するものであり、各章において白山市らしさを組み込むべきである。

③住民投票など大きな課題については、できるだけ具体化して条文化すべきである。

④市民の権利ばかりが主張されないよう市民の責務、義務を明確にすべきである。

⑤議会の役割と責務については、議会自身もよく考えるべきであり、今後十分な議論が必要である。

⑥職員の倫理及び自己責任に関する条文が必要である。

当委員会としては、市民本位のまちづくりを進めるため、当条例の制定について、引き続きより多くの時間をかけて、議論を尽くすべきとの結論となりました。

財政問題対策特別委員会

中長期的視点に立った
財政運営に取り組み

当委員会では本市の財政問題について調査するため、2年間にわたり14回の委員会を開催しました。また財政健全化の取り組みなどについて行政視察を行っており、これまでの調査結果を報告します。

本市における歳入の推移は、税源移譲により、市税は大幅に増加していますが、所得譲与税の廃止や市税の純増による普通交付税の減額に伴い、一般財源の総額は、ここ数年300億円前後となっています。一方、歳出の推移は、人件費は抑制傾向にありますが、扶助費や公債費等の義務的経費が伸びているほか、市債残高は、平成18年度決算で類似団体と比較し、約2倍となっています。

また、平成19年度決算における実質公債費比率は、合併後も教育施設や都市基盤整備など、市民ニーズの高い建設事業を継続してきたことにより、20パーセントと高くなっています。

このような状況を踏まえ今後の歳入対策としては、工業団地の整備や観光資源の開発などによる積極的な自主財源の確保や、滞納者対策として、柔軟な徴収体制の確立やコンビニ納税についても前向きに検討する必要があります。また、歳出では、全体的な経費の削減

を実施するほか、公債費の増加が課題となっていることから、特に合併特例事業債の発行を抑制し、償還計画を視野に入れた中で執行することが重要であります。そのほか、経常収支比率が年々悪化していることから、中期財政計画を作成する上で、例えば経費の1パーセント削減運動を実施するなど、職員には常に経営的な感覚や危機意識を持つて厳しい財政状況の改善に取り組むことや、市民の皆さんに対しても本市の財政状況の厳しさを周知することが必要であります。

現在合併算定替により加算されている普通交付税は、平成27年度から段階的に減額されることから、今後は中長期的な視点に立った財政運営に取り組むとともに、行財政改革を進めながら財源確保に努め、健全な自治体運営が行われることを期待します。



先進地を視察（兵庫県川西市）

産業振興対策特別委員会

市の産業施策について考える

本委員会では、産業施策について調査し、鋭意審議を重ねてきましたので、その結果を報告します。

企業誘致・立地施策について

① 鶴来・白山ろく地域への企業立地に向け、条件整備を

過疎対策の観点から、白山ろく地域在住者の通勤圏内に新たな雇用創出を図るため、一定規模の企業が単独で立地した場合にも独自の助成制度を設け、企業が進出しやすい条件の整備を行うなど、積極的に企業立地に取り組むこと。

② 既存企業に対する助成の検討を

新たな雇用の創出や市外への移転を防ぐため、既存企業においても、高度な設備投資をした場合は、助成を検討すること。

③ 地域ハランスを考えたマスタープランの策定を

都市計画マスタープランにおいて、新工業団地の候補地を決定する際は、鶴来地域など内陸部での造成を検討し、市全体の地域振興に配慮すること。

④ 正規雇用の働きかけを

市内進出企業に対し、市内在住者の正規雇用を強く働きかけること。

農業・林業施策について

（農業）市当局から農業の現状について説明を受けた後、農業関係

者との懇談会を2回開催しました。委員会では、国策において、意欲ある農家を確実に育てるという長期的で明確な方向づけが必要であります。また、地産地消の推進による食料自給率の向上を図るため、担い手となる農業者、生産組織の育成と併せ、農地の持つ涵養性、環境保全の観点から、中小規模農家の育成も大切であり、こうした農家を中心に集落営農組織の育成を図るため、市として積極的に取り組むべきと考えます。

（林業）林業関係者との懇談会を

2回開催し、市内の間伐済み森林を視察しました。健全な森林を次世代に継承するために、早急な整備が必要であり、山林所有者や組合の負担軽減のため、市が林道管理を計画的に行う必要があると考えます。また、地域の気候風土にあった白山市産木材の利用は、建物の耐久性も増し、健康にも良く、森林整備の観点からも間伐木材の需要を増やすことが大切であるため、一般住宅における市産材の利用促進に向け、補助金の増額を検討すべきと考えます。



市内の間伐済みの森林を視察

環境対策特別委員会

循環型社会の構築に向けて ごみの減量・資源化推進

ごみ処理をめぐる状況は厳しいものがあり、ごみの適正処理とごみ処理に伴い発生する環境負荷を低減させる方策として5Rを中心とした取り組みを強化させ、循環型社会の構築に向けて、ごみの減量化、資源化・有効利用の推進、廃棄物行政の合理化が求められています。

5Rとは
 リデュース（発生抑制）
 リユース（再利用）
 リサイクル（再生利用）
 ルール（決まり）
 リフューズ（断る）

本委員会では、循環型社会の実現に効果的な環境施策の調査および審議を行った結果を「ごみの減量とリサイクルの推進についての提言」としてまとめました。

以下、提言の主な内容です。

- ① 家庭におけるごみ減量化の目標設定と目標達成への具体的提案
- ② 環境意識の醸成、環境教育の充実

市民講座や環境イベントの開催のほか、さまざまな機会をとらえた環境啓発、ごみの分別ルールやマナーの指導。子どもに対する体験型環境教育の実施。



焼却灰リサイクル事業を視察

- ③ リサイクルシステムの構築

生ごみを堆肥化するリサイクルシステムの構築。ボランティアの育成、サポートグループのネットワークづくり支援。

- ④ 事業者における廃棄物対策と広域での取り組み

いしかわ事業者版環境ISOの取得推進。近隣自治体と協力し、広域的な取り組み。

- ⑤ 行政組織内での横断的な取り組み

このほか、市民にごみ処理にかかる費用を示し、ごみ減量化への意識喚起と経費削減の効果を期待するという意見がありました。

青少年育成対策特別委員会

食育を通じた青少年の健全育成 4提言を取りまとめる

白山市では、平成17年3月に子育て支援に関する今後10年間の計画的な諸施策を推進する指針として「白山市次世代育成支援地域行動計画」が策定されましたが、本委員会では今後の青少年の健全育成対策として、さらなる啓発や実効的施策が必要と考えました。

平成19年3月からこれまで9回にわたって委員会を開催し、市内小学校の学校給食を現地視察するとともに、福井県小浜市などの先進地を視察し、その調査結果に基づき、「食育」と「生涯学習」の2面から効果が期待できる施策を検討するため審議を重ねてきました。

食育を通じた青少年の健全育成

食育は食を通じた人間教育であり、人は生涯を通じて食によって育まれ、「知育・徳育・体育の基は食育」といった考えの中、健全な身体づくりと心を養うためには食育が大切です。

食育によって知識や望ましい習慣を子どものころから身に付けることで、青少年の健全育成が図られるとの考えの下、具体的な施策を検討し、以下の項目に取りまとめました。

提言1 食育の啓発事業の拡充に

ついて、行政は、保護者をはじめとする大人に対する意識啓発や学習の機会をさまざまな場で提供するため、各種啓発事業の拡充を図りたい。

提言2 「早寝・早起き・朝ごはん」運動のさらなる推進について、子どもたち一人一人が、生活習慣を見つめ直し、生活リズムの向上につなげるとともに、保護者にも子どもの生活リズム改善を促すため、「早寝・早起き・朝ごはん」運動のさらなる推進を図りたい。

提言3 キッズキッチンの実施について、キッズキッチンは、小学校就学前の幼児を対象に、料理を通して子どもへの五感を最大限に発達させ、好き嫌いをなくし、食を通してマナーや段取り、人が社会の中で生きていく上で大切なことを幼児の時から総合的に学べる体験型料理教室です。幼少期から、食育によって知識や望ましい習慣を身に付けるため、キッズキッチンを実施されたい。

提言4 食育専門課の設置について、部局を横断し、総合的な方向性を持った事業展開を行うため、食育専門課を設置されたい。
 以上4項目にわたり提言として取りまとめました。

中期財政計画、行財政改革 上半期実施状況示される

総務企画常任委員会

市債発行、償還の今後見込みは

質問 今年度は71億円の発行を見込み81億円の返済だが、今後交付税等の減額が見込まれる中、市債の発行、償還はどうなるのか。

答え 起債の発行額は減らしていきたいが、既に今年度は、急激な景気の悪化で市税の収入が減っている。来年度以降、臨時財政対策債等の増発、また、国からの景気対策に新たな市債の発行の可能性もある。今後もバランスをとりながら財政運営に努めていきたい。

中期財政計画の見直しは

質問 中期財政計画は、小・中学校の建設、改修工事など合併当時の内容にとらわれず、財政健全化のため長期展望に立つて、地域の人に理解を得て見直すべきでないか。

答え 合併特例債を使った事業を計画的に進め、また起債制限比率等のガイドラインを見据え、国の交付税の動向を注視しながら見直していきたい。

職員の削減に伴う支所のあり方は

質問 職員が減ると、支所のあり方が問題となる。地域住民が不安を持ちながら過ぎており、支所がどのようになるか具体的に話す時期を検討されたい。

答え 保育所の民営化などをまず

進めていきたい。支所の体制については、今後地域の皆さんの理解も必要であり、時間をかけてやっていきたい。

町名の変更は、積極的に進められたい。

質問 新成二、三丁目の地番は全部変わるのか。

答え 町の名称をこれまでの任意の名称である「新成二丁目」、「新成三丁目」に変えるもので、地番は1番から打ち直す。

質問 町名がわかりにくく、郵便物の配布に支障がある町が幾つかあり、町名の変更は、市より積極的に推進されたい。

答え その町に住んでいる方の合意が重要であり、合意され次第順次進めていきたい。

JR松任駅の自由通路にエスカレーターは必要か

質問 維持費、建設費を考えた場合、エスカレーターは必要か。

答え 自由通路は市道として市民の皆さんが使いやすいものにした。駅は、白山市の顔であり、また駅利用者の混雑を考えた場合、エスカレーターは必要である。

質問 エレベーターに自転車は載せられるのか。

答え 引っぱりながら歩行者として乗ることができる。

女原温泉、桑島総湯 4月から高齢者福祉施設に

文教福祉常任委員会

12月16日、委員会を開催し、補正予算案4件、条例改正案4件を審議した。

白山市市民温泉条例の一部を改正する条例をはじめ、全議案を全会一致で可決した。

障害者地域生活支援

質問 配食サービス事業、移動支援事業、日中一時支援事業などの利用が増えているが、予算不足で市民が利用を制限されることはないか。

答え 予算不足になっても、制限することはない。

子育て支援医療給付金

質問 子どもの医療給付金が増え、伸びている要因は。

答え 20年4月から対象になった

中学生の申請が、見込みより多くなったもの。申請期限は1年間。

安心実現のための、緊急総合対策事業

▽蕪城小学校・松任中学校・美川中学校内部改修工事

▽蕪城小学校増築実施設計

産科医療補償制度

産科医療補償制度の創設に伴い国民健康保険条例が改正され、制度に加入する医療機関での出産に、出産育児一時金を3万円加算する。

▽産科医療補償制度は、通常の妊娠・分娩に関連して発症した小児の脳性麻痺で一定要件に合うとき、3000万円補償するもの。

▽妊婦さんは分娩機関に申込金3万円を登録申請する。

▽平成21年1月1日施行

そのほか、補正予算の主なものは次のとおり。

- ▽市立保育所臨時保育士費用
- ▽郷保育園大規模改修事業
- ▽法人保育園運営補助
- ▽美川文化会館オストメイト対応トイレ整備

▽松任海浜温泉源泉ポンプ設置工事



和室を普通教室に改修（松任中学校）

生活経済常任委員会

白山白峰温泉スキー場、県に対し財政支援を強く求める

白山白峰温泉スキー場の運営について

質問 白山白峰温泉スキー場の今後の運営について問う。

答え 白山白峰温泉スキー場については、市議会スキー場対策特別委員会及び全員協議会において「スノースポーツの観点から体育施設として県に対して支援を強く要請し、その推移を見守った上で判断する」との方針が決定している。競技専用スキー場として運営するためには、全コースを使用するのではなく、全日本スキー連盟公認コースである桑島側のヤングバレー第1、第2リフトの2本だけを使用することにより、経費の削減を図り、今シーズンの経費を2700万円と試算した。その財源については、県の財政支援が500万円、地元NPO法人が500万円、リフトの利用料収入が200万円、差し引き1500万円を議会の理解が得られれば、市の支援額としたい。

市としては、白峰温泉スキー場は県内唯一の全日本スキー連盟公認のアルペンの大回転競技コースを有しており、また西山クロスカントリー競技場とともにスキー競技力の向上と選手の育成・強化、スキーを通じての青少年の健全育

成を図る上でも重要であると考えている。

地元NPO法人が負担する500万円については、大変厳しい金額だが、地元には「スキー場をやる」といった強い意欲がある。

意見 白山白峰温泉スキー場に関してさらなる財政支援を強く求める。

公共施設アスベスト含有分析調査事業について

質問 以前に行われたアスベスト調査のデータは役に立たないのか。

答え 平成17年に調査を行った際、その際の調査項目は3種類のアスベストで含有量が1%以上の条件で114施設、242カ所の調査をした。その結果、20施設29カ所が該当した。

今回の調査では6種類、含有量が0・1%以上と条件が大きく異なっており、今回111施設、220カ所の調査を予定している。調査期間は3カ月程度を要する。



白山白峰温泉スキー場

建設企業常任委員会

市道の補修や街灯の整備を実施せよ

意見 市道の舗装部分に傷んでいる箇所がたくさんあるため、できる限りパトロールを行い、補修してほしい。また、来年度の予算にも盛り込んでほしい。

答え 平成21度の予算編成に向けて、松任地域及び各支所における道路の修繕箇所や安全施設等を調査し、年次ごとの計画を作成している。

意見 通学路に街灯のないところがあり、安全面からも必要な箇所には早急に整備をお願いしたい。

答え 毎年10月ごろに各町内会からの要望をお聴きし実施しているが、それ以降の要望で、年度内の予算で対応できない場合は、翌年度の対応としてご理解をいただいている。

※早急に補修や整備が必要とされる箇所については、予算措置など、柔軟に対応するよう、本会議において委員長報告を行った。

JR松任駅自由通路と橋上駅の年間維持管理費は

質問 計画されている自由通路と橋上駅の年間維持管理費はどれくらい必要か。

答え エレベーターとエスカレーターが2基ずつあり、640万円がかかるほか、通路の照明電気料

やトイレの上下水道費などを含め、約1000万円が必要である。

事件処分案3件

市道路線の認定

○中成下成線 ○相木線

○相木遊歩道5号線

○手取ヶ丘4号線

市道路線の変更

○千代野相木線(新)

○千代野成線(旧)

市道の廃止

○B199号線

追加議案1件

北陸本線松任駅自由通路等の新設工事委託に関する協定について

○協定の目的

北陸本線松任駅自由通路等の新設工事委託

○協定の金額

15億4935万5000円

○協定の相手方

大阪府大阪市北区中津一丁目11番1号

西日本旅客鉄道株式会社

大阪工務事務所長 杉木孝行

白山市の名所 ししく ~パーク獅子吼~

パーク獅子吼は、恵まれた自然の中に、芝生公園やアスレチックが整備されており、家族連れで大変賑わうなど自然を満喫できるスポットがたくさんあります。ぜひお越しください！

3 獅子ワールド館 入館料◆無料

日本一の木彫り大獅子頭や地元の加賀獅子頭をはじめ、世界の獅子を展示しているほか、鶴来の歴史・文化・産業・観光について4面マルチビジョンで紹介しています。



夫婦魏魁獅子（めおとぎかいじし）
高さ2.2m、重さ1.5t



1 池辺いこいの広場

緑のじゅうたんが広がった園内。フィールドアスレチックで、思いっきり体を動かしてリフレッシュ!!



2 ふれあい館

木のぬくもりが心地よく、休憩はもちろん、ケーキセットや麺類・どんぶりものなどを食べられるお食事処で、ゆったりくつろげます。また、ライブやトークショーなど多目的に利用できます。



5 ふるさと館

鶴来の工芸品や特産品を展示販売しています。

香り豊かでやさしい
味わいが人気の
高原のパン屋さん
『蔵工房』もあります



4 造り物の館

ほうらい祭りで担がれた高さ5メートルの「造り物」を展示しています。今にも動き出しそうな迫力は圧巻！



問い合わせ先◆パーク獅子吼管理事務所 TEL273-8449

編集後記

今回「白山市の名所」でパーク獅子吼を特集いたしました。この近隣には、樹木公園や昆虫館などがあります。陽春に誘われ、ピクニックや散策など、自然や昆虫に触れてみてはいかがでしょうか。

さて、白山市が誕生して5年目を迎えました。我々議員の任期も1カ月を残すばかりとなりました。私たち編集委員6名にとっても、この1年間は、「どのようにすれば、市民の皆様に進んで読んでもらえるか」また「わかりやすく伝えられるか」を常に議論を重ね、市民の皆様のご期待に応えられる議会だよりとなるよう努めてまいりました。

市民の皆様には、これまで議会だよりをご愛読いただき、ありがとうございました。今後さらに、この議会だよりが市民の皆様と議会との架け橋となりますよう努めてまいりたいと思いますので、よろしくご支援お願いいたします。

(編集委員一同)

編集委員会

委員長:小川 義昭 副委員長:北嶋 章光 委員:河原 秀昭、清水 芳文、北山 進、前多 喜良